

---

# valuedesign

2020年6月期第3四半期  
決算補足説明資料

---

2020年5月14日  
株式会社バリューデザイン

1. 2020年6月期第3四半期 決算報告

2. 事業の進捗状況

## キャッシュレス還元事業効果を背景に、業績は引き続き順調に推移

連結売上高	： <b>1,846</b> 百万円	前期比 +20.0%	進捗率 80.5%
連結営業利益	： <b>117</b> 百万円	前期比 +313.2%	進捗率 222.4%

### ■ 2020年6月期 第3四半期トピックス

#### ① 大手量販店への導入やキャッシュレス還元事業の効果で売上・利益とも好調

- ・大手量販店等でのチャージ機需要増、消費者還元補助受給用の決済データ提供手数料などで初期売上は2Q同様に増加（前期比+30%）、その利益確保により利益は予測値を超過
- ・キャッシュレス還元事業参加企業の取扱高が増加し、システム利用料は順調（前期比+14%）

#### ② 新型コロナウイルスによる通期影響の予測が困難なことを踏まえ、業績予想は据置き

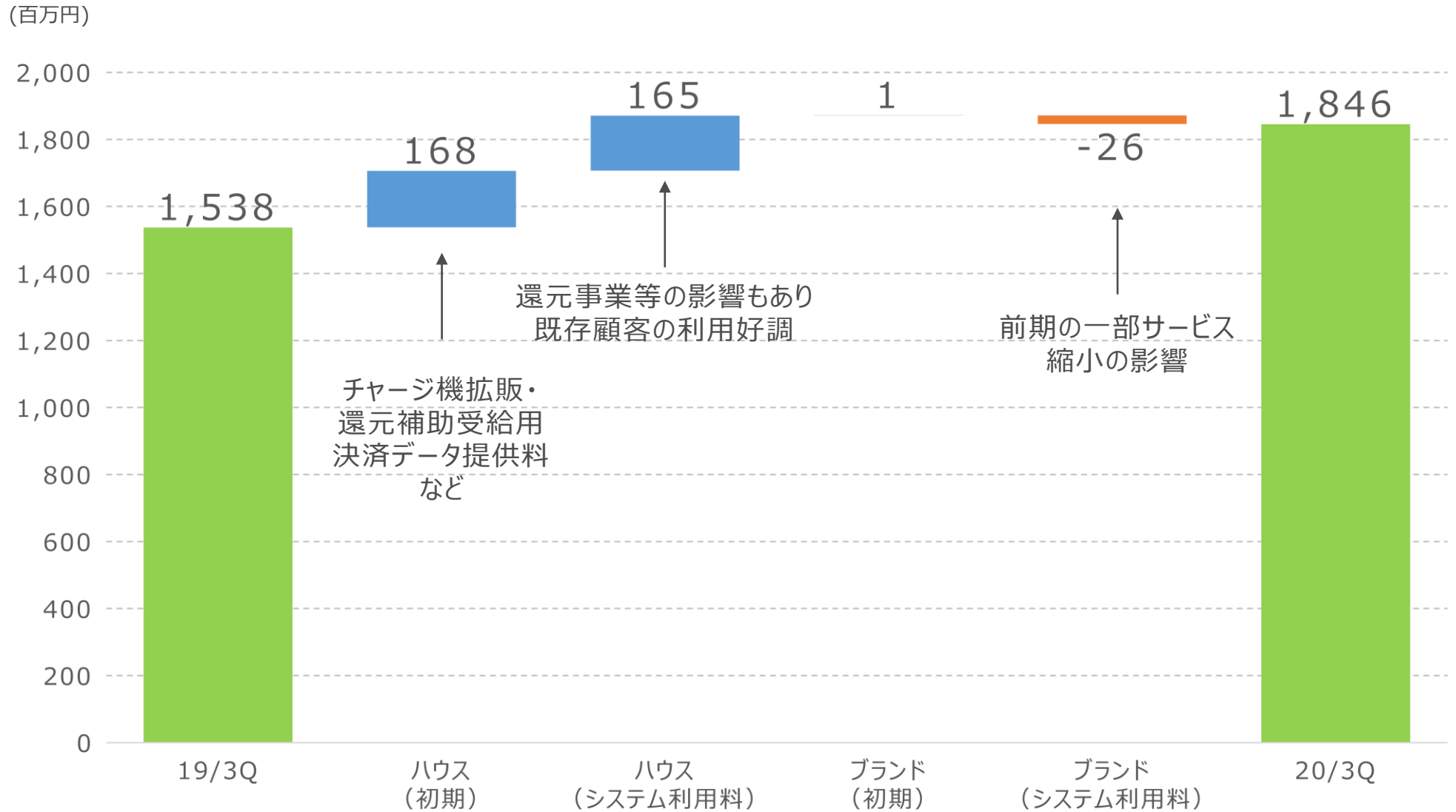
- ・既存案件は顧客業界ごとに影響が異なり、3Qまでの影響は薄いが通期の予測が困難
- ・上記に加え、キャッシュレス還元事業の最終清算対応等の不確定要因も存在しており、通期業績予想は期初数値を据え置き

# 連結P/L（2020年6月期 第3四半期）

初期売上30%超、システム利用料売上10%超成長し、計画比でもやや超過  
粗利率は良化、販管費等費用は計画水準を維持した結果、利益は3Q時点で計画を超過

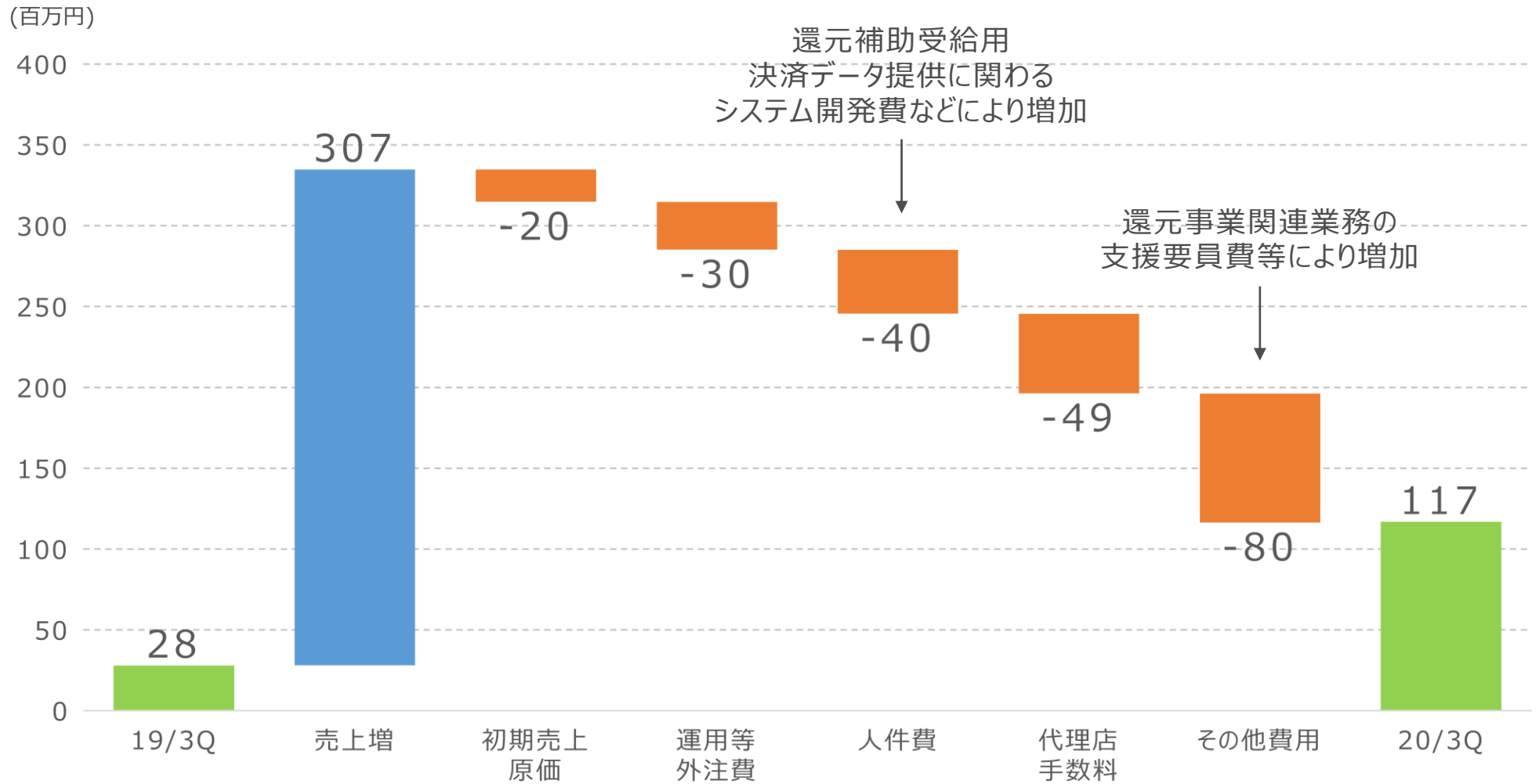
	実績		前期比		通期進捗率	
	① 2020年6月期 第3四半期 (実績)	② 2019年6月期 第3四半期 (実績)	前年同期比 (①÷②)		③ 2020年6月期 (予想)	進捗率 (①÷③)
売上高	1,846	1,538	120.0%		2,295	80.5%
（初期売上）	728	559	130.2%		813	89.6%
（システム利用料売上）	1,118	978	114.2%		1,482	75.4%
営業利益	117	28	413.2%		53	222.4%
経常利益	105	19	533.9%		43	244.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	76	12	631.9%		1	7687.1%

# 連結売上高の変動要因（前期比）



# 連結営業利益の変動要因（前期比）

初期売上原価は想定よりも低減、その他各種費用の増分は想定の範囲内  
代理店手数料はキャッシュレス還元事業の影響によるシステム利用料売上増に伴い増加



# COVID-19(新型コロナウイルス感染症)による、当社事業への影響

	ポジティブ	ネガティブ
2020/6期 3Q時点での 影響	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 取扱高・システム利用料とも増加し、特段影響なし</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 特になし</li></ul>
2020/6期 4Qへの影響	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 初期売上は受注済、又は計上がほぼ確定的であるため影響は僅少の見込み</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 一部業態でのプリペ利用減</li><li>✓ 但し別業態では利用増傾向のため甚大な影響はないと予測</li></ul>
2021/6期 への影響	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ キャッシュレス決済普及の加速(衛生面からの嫌忌)</li><li>✓ 成長市場(中食・EC)への事業拡大機会</li><li>✓ 成長サービス(事前オーダー等)との連携による競争力UP</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 消費低迷の長期化<ul style="list-style-type: none"><li>• 利用減少中企業の回復長期化</li><li>• 利用増加中企業の減少転落</li></ul></li><li>✓ 警戒期間長期化による、新規開拓ペースの減少</li></ul>

1. 2020年6月期 第3四半期 決算報告

2. 事業の進捗状況



## 事業別業績：ハウスプリペイド

キャッシュレス還元事業の効果で2Q（+14%）よりシステム利用料売上の成長率Up  
併せて、初期売上の粗利も2Qより良化したことでセグメント利益は30%弱の成長

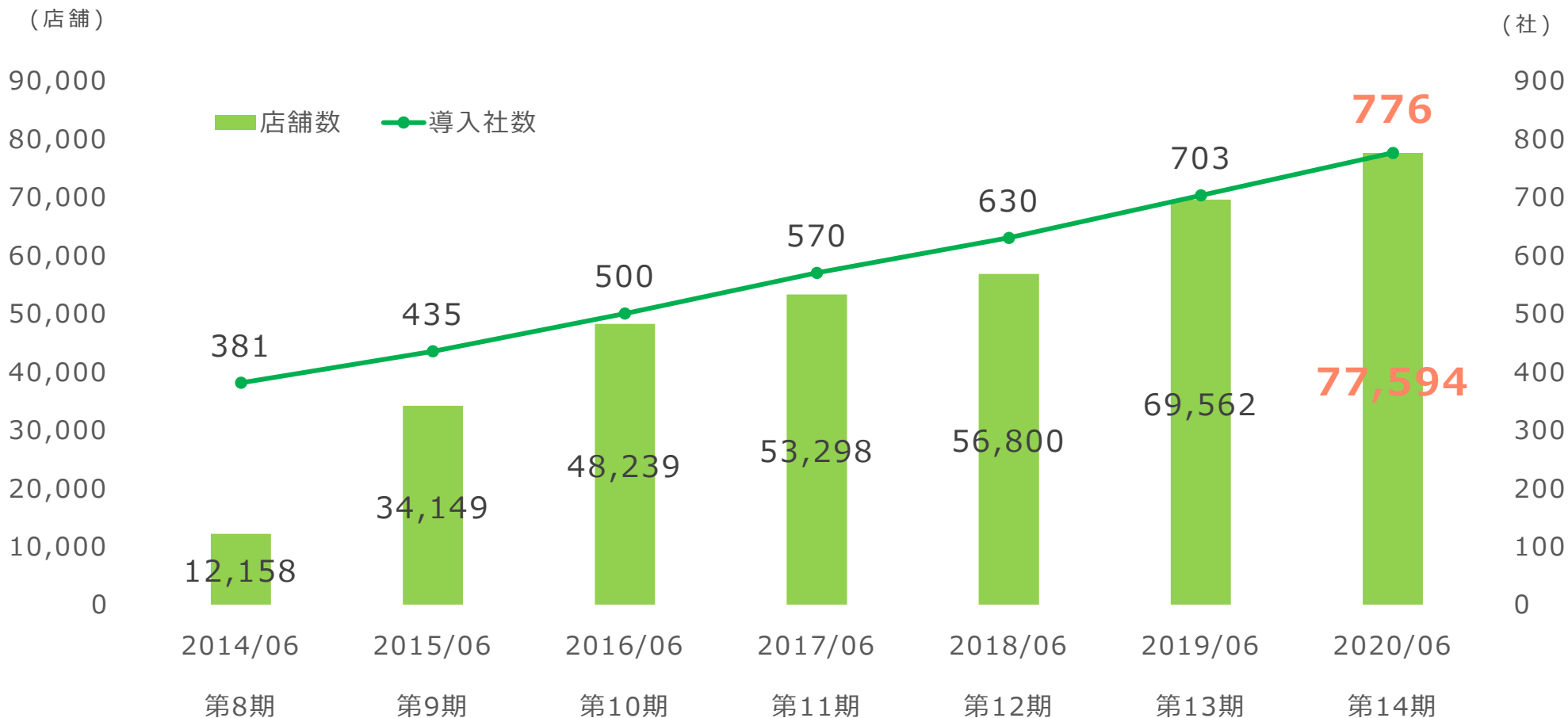
(百万円)

	① 2020年6月期 第3四半期	② 2019年6月期 第3四半期	前年同期比 (①÷②)
売上高	1,729	1,396	123.9%
(初期売上)	718	550	130.6%
(システム利用料売上)	1,011	846	119.5%
セグメント損益	396	308	128.6%

# ハウスプリペイド事業の状況（店舗数・導入社数）

順調に拡大し、導入店舗数は7万店舗に到達、導入社数は776社

## <累計導入店舗数の推移>



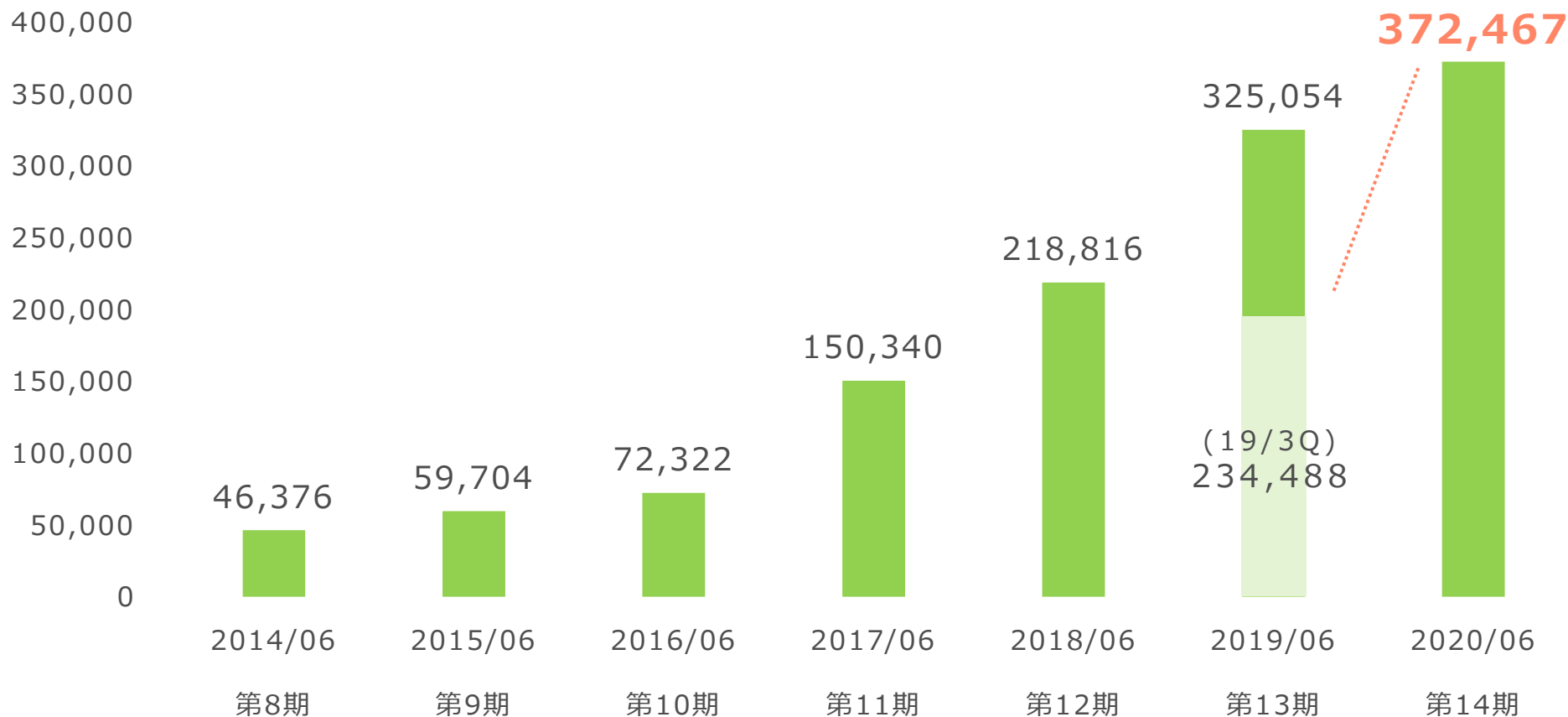
(2020/3時点)

# ハウスプリペイド事業の状況（取扱高）

大型量販店の取扱高増加の継続、中堅スーパー等のキャッシュレス還元事業による利用増の影響により、3Qで約3,724億円（前期比58.8%増）に到達

<年間取扱高(=プリペイドチャージ額)の推移 ※海外含む>

(百万円)



(2020/3時点)

## 事業別業績：ブランドプリペイド

新サービス（給与前払・外国人向けプリペイド）に関する協議、パートナー開拓を継続中  
既存サービスは2Qから引き続き横ばいの状況

(百万円)

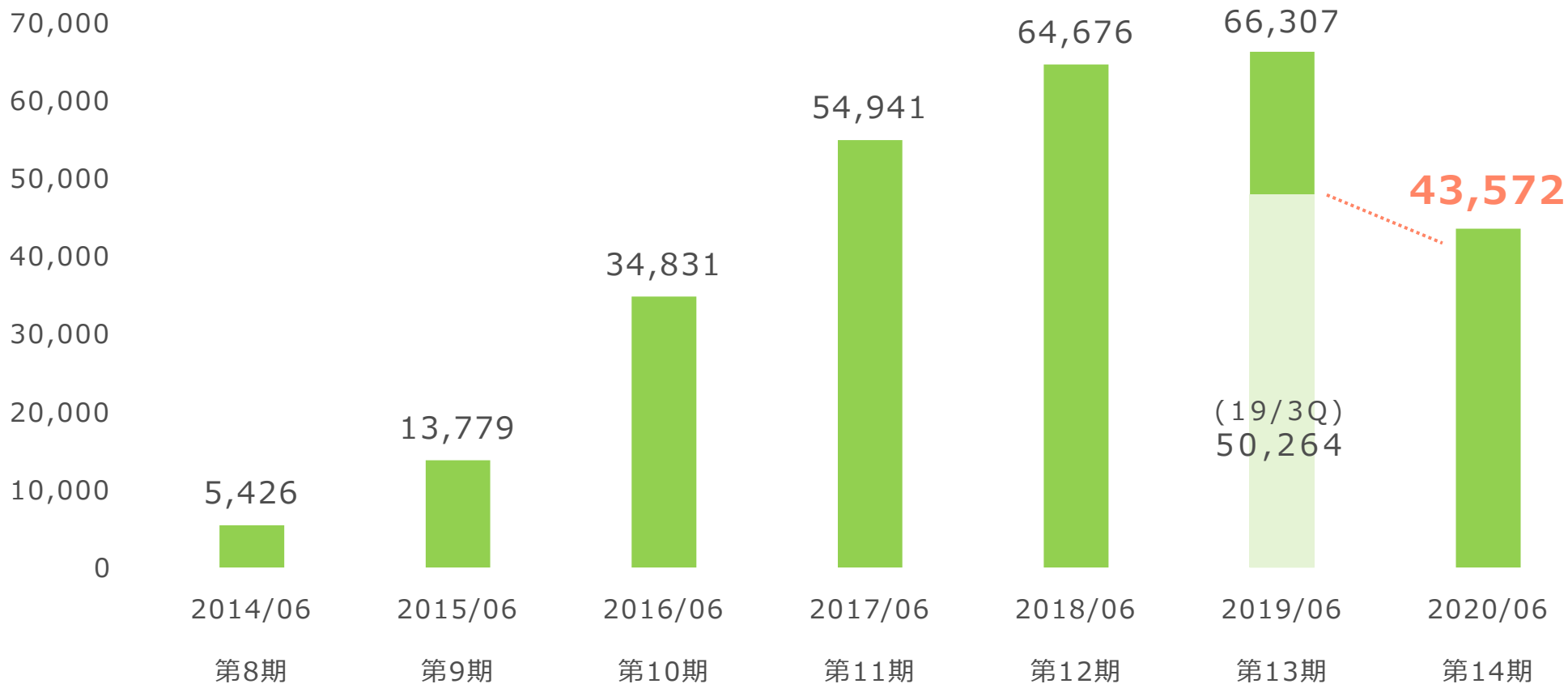
	① 2020年6月期 第3四半期	② 2019年6月期 第3四半期	前年同期比 (①÷②)
売上高	116	142	81.9%
(初期売上)	10	9	105.6%
(システム利用料売上)	106	132	80.2%
セグメント損益	-39	-8	-31百万円

# ブランドプリペイド事業の状況（取扱高）

前期末のサービス一部縮小、及び12月の利用が前期同月より少なく、13.5%減

<年間取扱高(=プリペイドチャージ額)の推移>

(百万円)



(2020/3時点)

## 事業別業績：海外

タイ・マレーシアでのシステム利用料が引き続き増加傾向

インドはチャージ&利用のほか、ポイント交換サービスとの提携による売上が増加中

(百万円)

	① 2020年6月期 第3四半期	② 2019年6月期 第3四半期	前年同期比 (①÷②)
売上高	33	22	145.5%
(初期売上)	4	8	59.8%
(システム利用料売上)	28	14	193.8%
セグメント損益	-39	-44	+5百万円

(注)海外は当社セグメント定義上ハウスプリペイドに属するため、当業績は前出のハウスプリペイドの業績に含みます。

# 事業別業績：海外

既存顧客での利用が引き続き増加し、前期比85.1%増

<海外単独の年間取扱高(=プリペイドチャージ額)の推移>



(2020/3時点)

(注)海外は当社セグメント定義上ハウスプリペイドに属するため、当実績は前出のハウスプリペイドの実績に含みます。

本資料の作成にあたり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。

また、将来に関する記述が含まれている場合がありますが、実際の業績は様々なリスクや不確定要素に左右され、将来に関する記述に明示又は黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。

本資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が、その他の目的で公開又は利用することはできません。